



集え青年！ 伝えようユネスコ！
ユネスコ活動を活性化させるための
イベント出展の手引き



目次



はじめに p.1

この手引きの使い方 p.2

イベントを利用した青年活動の活性化のイメージ p.3

活用事例 p.4

① イベント出展申し込みまでの流れ p.5

Step1. 実行委員会の立ち上げ

Step2. 出展目的と内容の検討

Step3. 出展するイベント・催事場への申し込み

② 出展に向けた準備 p.6

Step1. 当日ボランティアの募集

Step2. 事前勉強会の実施

Step3. 展示物・配布資料の準備

③ いよいよ当日！その前に... p.7

Step1. 会場設営

Step2. 当日ボランティアのサポート

④ 来場者との交流のコツ！ P.8

⑤ 終了後のポイント！ P.9

付録 p.10～

貸し出しパネル

出展事例

- ・ 2016年度ワールド・コラボ・フェスタ
- ・ 2017年度グローバルフェスタJAPAN
- ・ 2017年度ワン・ワールド・フェスティバル

参考情報



はじめに 本資料の位置づけ

- 2016~2017年度 青年情報交換会*では、過去5回の国際協力系フェスタに出展してきました。それが、青年会員が少ない・いないという課題を抱えるユネスコ協会において、青年を集めるきっかけ、青年が活躍できる場づくりとして、有効なのではないかと考えたからです。私たちは、ブース出展することで「ユネスコのことを深く知るきっかけとなる」「より多くの若者にユネスコを知ってもらうきっかけになる」「他団体の活動を知ること自分たちの活動を振り返ることができる」等の様々な効果を実感することができました。
- イベントへの出展をきっかけにUNESCOに関する知識を増やし、仲間を増やし活動の活性化につながることを目標にこの手引きを作成しました。仲間が少ない、もっと仲間を増やしたいと考えている青年会員および青年が活躍できる場をつくりたいとお考えの会員の方は、本資料を活動の参考にしてください。

* 青年ユネスコ活動の課題を整理し、それを解決するアクションを行い、PDCAをまわしていくことで、その課題を解決するという目的で2014年度から2017年度まで実施。青年代表理事、青年評議員、全国的青年連絡組織代表が出席。

～注意～

本資料はユネスコ活動に関して出展する際のルールを定めたものではありません。本ガイドラインを参考にしながらも、それぞれの地域の状況にあわせて活動してください。

この手引きの使い方

国際協力・国際交流をテーマとするイベントや市民祭りへの出展をきっかけに、地域のユネスコ活動に参画する青年層を増やし、活動の活性化につなげていきたいユネスコ協会・クラブ(以下、ユ協)やユ協内の青年部(青年会員)にこの手引きを活用していただきたいと考えています。

出展の体制としては、以下のような形が考えられます。

- ① ユ協に所属する青年会員が中心となって企画、出展する。
 - 周辺の高校以上の学校(ユネスコスクール・ユネスコ部・ボランティア部のある高校、大学など)に、企画段階からの参加呼びかけや、当日ボランティアの募集をする。
 - SNS等を使って広く一般から当日ボランティアを募集する。
- ② ユ協の大人会員が学校や青年(非会員)と連携して企画、出展する。

青年会員はいないが、周辺の学校への呼びかけや、SNSによる一般への呼びかけによって、企画段階からの参加、または当日ボランティアを募集し、活動の活性化につなげる。

イベントを利用した 青年活動活性化のイメージ

- ◆ UNESCOと民間ユネスコ運動について
- ◆ 世界寺子屋運動について など

ボランティア
募集中



①青年部など
実行委員

②大人の担当者

当日ボラン
ティア募集

事前勉強会
実施

出展

次のイベ
ントや活
動に誘う

企画段階から参加する
実行委員メンバーを募集

参加

協力

参加

当日ボランティア

来場者

- ◆ 学校を通じた募集
 - ・ 高校ユネスコスクール
 - ・ ユネスコ部やJRC、
インターアクトがある学校
 - ・ 大学ユネスコクラブ
- ◆ SNSなどを使った一般への募集

当日ボランティアや来場者が、
ユネスコ活動に関心をもつ

活用事例

ケース1 「ユ協からユネスコスクール(高校)にお声がけし、一緒に出展する」

Aユネスコスクール(高校)は、書きそんじハガキ回収など世界寺子屋運動に協力しています。Bユ協は同じ地域でユネスコ活動をする者同士、国際交流フェスタに共同で出展しないかAユネスコスクールに声をかけ、一つのブースで一緒に出展することになりました。ブースで世界寺子屋運動の意義を一般市民の方々にPRするため、事前にAユネスコスクールを訪問し、お互いの活動を紹介しあったり、出展内容について打ち合わせを行いました。出展は双方の交流を深める機会となり、出展後、Bユ協とAユネスコスクール間のやり取りがスムーズに行えるようになりました。書きそんじハガキキャンペーンへの参加や、次年度のフェスタ出展について継続して話し合いを続けています。

ケース2 「うちのユ協、青年が1人しかいないのだけど、どうしよう？」

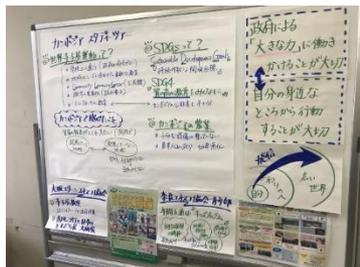
Cユ協には、高校時代にスタディツアーに参加したのをきっかけに、ユ協の会員になった、大学生のユネオ君しか青年会員がいません。大人会員から市民まつりへの出展を勧められ、これを機に仲間を増やしたいなあと思ったユネオ君は、自分が通っていた高校がユネスコスクールだったことを思い出しました。早速、ユネオ君は高校時代の同級生や、高校時代の恩師を通じて高校生に声をかけました。高校時代の同級生が出展実行委員として一緒に企画することになり、高校生の数名は当日ボランティアとして参加することになりました。世界寺子屋運動に関する事前勉強会など、準備をどう進めていいか戸惑うこともありましたが、同じブロックの青年評議員のサポートもあり、なんとか出展を成功させることができました。出展を通して、何人かの高校生がユ協活動に関心を持ってくれました。次の活動を一緒に企画してみないか、高校生に声をかける予定です。

① イベント出展申し込みまでの流れ

- Step0.**
- 出展できるイベントがあるかどうか情報収集する
 - 出展可能か検討する（日程、かかる費用、イベントの趣旨と自分たちが伝えたいことが合うか）
 - 協会内で出展を決定
 - 運営体制の検討（どんな作業が発生するか洗い出し、実行委員や当日ボランティアを集める等）

イベント申し込み期限より1~2カ月前がベター

Step1. 実行委員会の立ち上げ



出展申請や展示物の手配など、事務作業の役割分担は明確にしておいたほうが運営がスムーズです。
また、そのような事務機能を担うには、ある程度の経験と知識が必要です。イベントを企画運営したことがある経験者を一人は実行委員として配置したほうがよいでしょう。
そのような経験者がいない場合は、親ユ協や他地域のユ協から助っ人を呼ぶ必要があります。各ブロック担当の青年評議員や青年理事にご連絡頂ければ、もちろんお手伝いします！

Step2. 出展する内容の検討



出展するイベントの趣旨と自分たちのもっているコンテンツが合っているかを確認して内容を考えましょう。さらに、規定されているルールに則った出展、スペースに合わせた出展内容の検討が必要です。パネルやポスターを作成する場合は注意しましょう。

また、日本ユネスコ協会連盟事務局でイベント出展用のパネルを用意しています。
全8種類で、世界寺子屋運動、書き損じはがき、SDGsについてのパネルです。詳しくはお問い合わせください。

Step3. 出展するイベントへの申し込み

イベントの申し込みの際には、事前説明会の有無、貸し出し物品（机やパネル、電源など）の確認をしましょう。
大きいイベントであれば、事前説明会があり、そこで貸し出し物品や当日のタイムスケジュールについての説明があります。必ず実行委員の誰かが参加できるように調整しましょう。小さいイベントで事前説明会がなく、不明な点がある場合は、運営団体に連絡し相談しましょう。

②出展に向けた準備

募集要項の拡散は全国的青年連絡組織
がお手伝いしますよ！

Step1.当日ボランティアの募集

※イベント当日より1カ月前には募集が終わるように！

実行委員と違い、当日ボランティアはイベント企画・運営やユネスコ活動の経験の有無に限らず行うことができるポジションです。経験の浅い青年会員の育成や、新規会員獲得のきっかけにもなり得るので、ぜひ広く呼び掛けてみてください。

イベント当日だけでなく、事前勉強会やその他の準備に関しても参加してもらう必要がある場合は、募集要項に明記しておきましょう。

LINEグループ等をつくり、
一斉に連絡できる体制を
つくるのを忘れずに！

Step2.事前勉強会の実施

※イベント当日まで時間が空きすぎてもNG！
1～2週間前の実施がベター

出展内容に合わせた事前の勉強会を実施しましょう。伝えたいメッセージを考え、イベント来場者からの質問を想定し、それに答えられるようにしましょう。

資料の読み合わせなどで基礎的な知識を抑えた後、当日の来場者とのやりとりを想定して、お客さん役とスタッフ役に分かれて行うロールプレイが有効です。

※事前勉強会や出展内容については、連盟事務局や青年評議員・理事にお気軽にご相談ください。



Step3.展示物・配布資料の準備

展示物や配布資料の準備は、実行委員だけでなく当日ボランティアに手伝ってもらってもいいでしょう。しかし、事前勉強会とは別日の準備である場合は、あらかじめ募集要項に明記しておかないと、人が集まらなかったりトラブルの原因となるので注意が必要です。

③いよいよ当日！その前に・・・

Step1. ブース設営についての確認

ブース設営は、イベントの運営が定めるルールに則って行いましょう。
荷物の搬入やブース設営可能時間の確認は事前に必ず行いましょう。

また、ブース設営に参加できる人員の確認と、設営までのタイムスケジュールも作成し、共有しておくとおスムーズです。



Step2. 当日ボランティアのタイムスケジュール

※イベント前日には作成し、当日までには共有しておきましょう！

様々な体験や出会いが待っている！



イベント出展は、ユネスコのブースを出展することだけが全てではありません！
他の出展者との情報交換や他の出展から勉強させてもらうことも多々あります。
ずっと自分のブースにいてはもったいない！
様々な団体が出展するようなイベントであればなおさらです！

実行委員含め、ブースで来場者対応をする人員のタイムスケジュールを組んで、
バランスよく来場者対応と他ブース巡りができるように配慮しましょう。
他ブースを周って交流することは宣伝にもつながります。

また、タイムスケジュールの作成にあたっては、当日ボランティアが全日程参加できるのか、片付けまで居られるのか等、一人一人の参加状況を確認する必要があります。

④今度こそ！いよいよ当日！

来場者との交流のコツ！

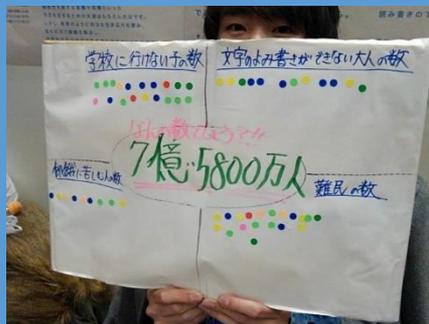
どんなに立派な展示物をつくっても、来場者との交流がなければ人は集まりません。
情報をみるだけであれば、インターネットで十分です。
イベント出展のだいごみは人との出会いとコミュニケーションです。
それがイベント出展を盛り上げるカギなのです！

一方的な説明より、来場者との対話を意識



「何か気になる出展ありましたか？」
「これってなんだか知ってますか？」
「〇〇って聞いたことありますか？」

常設展示だけでなく、参加型の企画を盛り込むとGood！



アンケート企画で考えるきっかけを演出！



フェイスペイントでブースをアピール！
ペイント中は展示の説明も。

⑤お疲れ様！ 解散...その前に！

終了後のポイント！

イベントも終わって、片付けも終了！
それでは解散...の前に！

実行委員・当日ボランティアの方々とイベントの振り返りはしましたか？
1日で終了するイベントの場合は、全体の振り返りで学んだことや今後に活かしていきたいことを共有しましょう。
複数日開催されるイベントの中日の場合は、今日の振り返りから明日に活かしたいことを共有するとよいでしょう。

終了後に、GoogleフォームやLINEグループで感想を集めることで、
文章で記録は残せます。
しかし、イベント終了直後に短時間でもいいので、イキイキした生の言葉を共有し記録しておくことをお勧めします！
出展のねらいと照らし合わせて客観的に活動を振り返ることで、
必ず次のユネスコ活動につながります！



**お疲れ様会も
交流を深める大きなチャンス！**



付録

貸し出しパネル

データをご希望の場合は事務局までお問い合わせください

1



想像してください。
もし、あなたが読み書きが
できない大人になっていたとしたら。

ネパールに住むルン・クマリ。
彼女は59歳で寺子屋に通うまで、
自分の名前さえ書くことができませんでした。

2



働かなければならない。紛争で学校に通えない…
世界には、学校に通えない子どもが6100万人。
読み書きのできない大人、約7億5800万人。

平和や幸福の基礎となるのは、「教育」です。しかし
世界には貧困や戦争などが原因で、学校に通えない
子どもや、学校に通えなかった大人がたくさんいます。

3

**貧困のサイクルを断ち切り、
明日を生きる力を育てます。**

教育の機会をつくる。
読み書き計算を学ぶ。
技術を身につける。
自分たちで活動を続ける。

世界寺子屋運動は、「貧困のサイクル」を断ち切るために、
世界の貧困地域で「学びの場＝寺子屋」をつくり、
人材育成によって自立した持続可能な社会づくりを応援する運動です。

付録

貸し出しパネル

データをご希望の場合は事務局までお問い合わせください

4

5

6

ユネスコ国際連合教育科学文化機関

- U ... United (国際) 英語の頭文字を取って、ユネスコと
- N ... Nations (連合) 呼ばれています。第二次世界大戦が
- E ... Educational (教育) 終わった1945年、「人類が二度と
- S ... Scientific and (科学) 悲惨な戦争を繰り返さないように」と
- C ... Cultural (文化) 願いを込めて、ユネスコが誕生しました。
- O ... Organization (機関)

教育…誰もが当たり前教育を受けられるようになること。
科学…科学の発展が人々のしあわせのために使われること。
文化…過去から今へ伝えられてきた文化や自然の遺産を守り、未来へと伝えていくこと。

平和と持続可能な世界の実現を目指して、後に加わったCommunicationを含め、4つの分野で様々な活動を行っています。

【地域ユネスコ協会・クラブ】

民間ユネスコ運動として全国には283のユネスコ協会・クラブがあり、地域から持続可能な社会を構築するため地道な活動に取り組んできました。

【全国的青年連絡組織】

全国各地でユネスコ活動をする青年のネットワークがあります。

世界寺子屋運動

江戸時代を中心に、日本中で広がった寺子屋では、お金持ちや武士の家に生まれた子どもだけでなく農民や商人の子どもなど、だれもが読み書きやそろばんを習うことができました。1989年から日本ユネスコ協会連盟が始めた世界寺子屋運動では、文字の読み書きだけでなく安定した収入につながるよう職業訓練なども行っています。また現地の人びとが支援に頼らず、自分たちの力で教育活動を続けられるよう人材育成活動も行っています。



カンボジア事務局のスタッフの声



教育などは国も世界も成長していくことができます。寺子屋は、年齢、性別、人種、宗教といった様々な違いに問わず、すべての人が一生を通じて学べる場所です。学校に遇えなかった人たちがだけでなく、深い立場にいる人たちも貧困のサイクルを抜け出し、生活の質を向上させるための技術や力をつけていくことができます。寺子屋を通じた草の根レベルの発展が今後の国の成長につながることを信じ、引き続きがんばってまいります。

教員・寺子屋運営者の人材育成



世界寺子屋運動が目指しているのは、地域の地域による地域のための寺子屋活動。寺子屋を建てることはあくまでも始まりで、その後の活動を自分たちで続けていく力をつけていくことを重視しています。

”誰も置き去りにしない” よりよい世界のためのSDGs17の目標



SDGs〔持続可能な開発目標〕は国連が定めた2030年までの国際的な目標です。それぞれの目標達成には、各国の政府だけでなく、世界中の人たちが一体となって取り組む必要があります。私たち日本ユネスコ協会連盟もSDGsの担い手として、各目標の達成に向けた活動を続けています。

戦争や内戦によって、家族や未来を奪われる人がいる。
 自然災害によって、生活や希望を失う人がいる。
 文字の読み書きができない人は、世界中で約9億人もいる。
 こうした問題の解決には、長い時間がかかります。
 緊急性を要する食糧や医療といった
 今日を生きるための支援はもちろん大切です。
 しかし、教育のように明日を生きる力を育み、
 自らの力で課題を解決し、
 自然や文化の大切さを未来に伝えていくための支援が
 世界には不足しています。

付録

貸し出しパネル

7

**書きそんじハガキで、
世界に学びのチャンス。**

11枚の書きそんじハガキで、
カンボジアではひとりごとりと月学ぶことができます。



2016年は
約117万枚
あつまりました！

52円の書きそんじハガキは1枚で47円の募金になります。 キャンペーン詳細はこちら▼
未使用切手やプリペイドカード500円分でも同等の支援ができます。 [書きそんじハガキ](#) [検索](#)

書きそんじハガキ・未使用切手・金券	ポイント寄附
<p>国庫を寄附するなどの理由で、返却されていない未使用ハガキや切手、金券、未使用切手をお送りください。書きそんじハガキ（52円ハガキが47円相当）に111枚でカンボジアでは一人ごとりと月学ぶことが出来ます。</p>	<p>お持ちのポイントカードやクレジットカードのポイントも活用していただけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 永久米澤中心点（そごう・西友・クレディセゾン） ● Tポイント募金（株式会社Tポイント・ジャパン） ● JRE POINT 1円換算目安：010-0333-0286（010-2016-0000）
ANA マイレージ寄附	遺贈によるご寄附
<p>ANAは2019年よりUNESCO全球サポーターとして、ANAマイレージクラブ会員を対象にマイルによる寄附を寄附しています。募集の詳細や申込など詳しくは、ANAホームページ（www.ana.co.jp）へ。</p>	<p>遺贈とは、遺言書によってご自分の財産（遺産）を特定の団体や人に贈付することが出来る、民法に定められた制度です。遺言書によって財産の一部またはすべてをご寄附いただけます。</p>
月1いいことプログラム	
<p>毎月自動振替で一定額（ひと月1000円から）を、ご指定の金融機関・郵便口座からご寄附いただけます。（手数料無料）また、当連盟ホームページからお申込みいただくと、クレジットカードでも一回1000円からご協力いただけます。毎月1000円なら「アフガニスタン」では、ひと月分の栄養補助食品を提供できます。</p>	

8



一人ひとりが、明日のために。



日本ユネスコ協会連盟は、私たちの活動の一つひとつが、
よりよい明日をつくる力になると信じて、
世界の途上国や日本国内、そして被災地で今日も活動しています。

データをご希望の場合は事務局までお問い合わせください

付録 出展事例

2016年度 ワールド・コラボ・フェスタ



< イベント概要 >

- ・日時：2016年10月31日（土）
- ・場所：オアシス21（愛知県名古屋市）
- ・イベントの概要：
持続可能な社会の実現のため、中部地域の国際交流・国際協力・多文化共生の活動を広げ、市民、NGO・NPO企業、行政が協力して「学び、考え、行動する場」をつくりあげるイベント。



< ブース出展概要 >

- ・出展協力団体
岐阜県ユネスコ協会青年部『結』
名古屋ユネスコ協会青年部若鯨組
- ・出展内容
世界寺子屋運動についてのブース出展。
- ・工夫／特徴
中部の青年が集まり企画運営をした。新規会員も増やすことができた。

付録 出展事例

2017年度 グローバルフェスタJAPAN



<イベント概要>

- ・日時：2017年9月30日（土）～10月1日（日）
- ・場所：お台場センタープロムナード（東京都江東区）
- ・イベント内容：
17の持続可能な開発目標（SDGs）に向かって、「Find your piece!～見つけよう、わたしたちにできること～」をテーマに実施。外務省やJICA、NGO、国際機関、各国大使館、企業など270団体が出展。

<ブース出展概要>

・参加・協力ユ協

柏ユネスコ協会、渋谷ユネスコ協会、厚木ユネスコ協会、慶應ユネスコクラブ、高校生カンボジアスタディツアー参加者等

・出展内容

世界寺子屋運動を中心に、パネルを展示。SDGsのアイコンや、日ユ協連のロゴ、書きそんジロー等のフェイスペイントを実施。

・工夫／特徴

事前勉強会では、来場者に説明することを想定して、ロールプレイング形式で説明の練習をした。当日は、フェイスペイントでブースをPRし幅広くユネスコ活動について説明をすることができた。

付録 出展事例

2017年度 ワン・ワールド・フェスティバル



<イベント概要>

- ・日時：2018年2月3日（土）～4日（日）
（両日とも10:00～17:00）
- ・場所：北区民センター（大阪府）
- ・イベントの概要：
SDGsが示す17の目標と理念をみんなで共有し、多くの人が様々な団体、機関、情報と出会い、今後につなげるための「きっかけ」や「場（機会）」を提供することを目的とし、国際協力・交流に関わるNPO/NGO、政府機関、国際機関、教育機関、自治体、企業などが協力して出展。

<ブース出展概要>

- ・合同企画・出展ならびにご支援いただいた団体・個人：
奈良ユネスコ協会青年部/エリーニユネスコ協会/松山ユネスコ協会/岡山ユネスコ協会/芦屋ユ協ならびに伊丹ユ協の方々など
- ・出展内容：
世界寺子屋運動についてのブース出展ならびにSDG4「教育」に関するプログラム出展
- ・工夫/特徴：
関西のみならず西日本で活動する青年によって企画/実施したこと。

参考情報

【世界寺子屋運動に関すること、発展途上国の教育状況】

- 世界寺子屋運動概略（日本ユネスコ協会連盟ウェブサイト）
<http://www.unesco.or.jp> 「世界寺子屋運動」
- 世界寺子屋運動 プロジェクトの様子
日本ユネスコ協会連盟発行「活動レポート2017」（冊子） *連盟事務局から送付可能
- 世界寺子屋運動に関する映像（YouTube）
<https://www.youtube.com> 「世界寺子屋運動」で検索
「ユネスコ」「世界寺子屋運動」の概略、支援地（支援終了した地域含む）の様子を映像でみることができます。
- 識字用語集（ユネスコアジア文化センターウェブサイト）
<http://www.accu.or.jp/shikiji/glossary/index.htm>
- UNESCO Institute of Statistics（UNESCO統計局ウェブサイト、英語・仏語・西語）
<http://uis.unesco.org/>
SDGs目標4（教育）に関する様々な統計データが掲載されています。
- Global Education Monitoring Report（英語・仏語・西語・露語、アラビア語、中国語）
<https://en.unesco.org/gem-report/>
<http://www.accu.or.jp/jp/activity/education/data/GEMR2017.pdf>（レポート概要の翻訳版）

【国別基礎データ】

- 外務省（国別情報：面積、人口、宗教、公用語など）
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>
- JICA（国別ガイド資料）
https://libportal.jica.go.jp/library/public/data/countries_guide-p.html

【SDGs全般ほか】

- 外務省（SDGs全般）
http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/doukou/page23_000779.html
- 国連広報センター（SDGs全般）
<http://www.unic.or.jp/>
<https://www.youtube.com/user/UnicTokyo>（ピコ太郎のPPAP-SDGs版もあります。）
- 一般社団法人 SDGs市民社会ネットワーク（SDGs全般）
<https://www.sdgs-japan.net/>
- 日本ユニセフ協会（世界の子どもたちの状況について）
<https://www.unicef.or.jp/>
- Think the Earth（SDGsを一般向けにわかりやすく解説）
<http://www.thinktheearth.net/jp/>
<http://www.thinktheearth.net/jp/projects/?k=%E5%87%BA%E7%89%88%E7%89%A9%E3%83%BB%E6%98%A0%E5%83%8F>（特にこのページに紹介されている書籍が分かりやすい。）

【教材、参加型ワークショップなど】

- 開発教育協会（教材、参加型ワークショップなど）
<http://www.dear.or.jp/>
JICA地球ひろば、日本ユニセフ協会のウェブサイトには、子ども向けサイトがあります。

～注意事項～

統計などを引用する際は、引用元を記載するようにしてください。例：出典「日本ユネスコ協会連盟」

SNSが発達した現代では、様々な情報が個人の見解としてネット上に掲載されています。それらの中には誤った情報も少なくありませんので、統計データなどは、上記のような信頼のおけるサイトから引用することをお勧めします。

著作権の問題がありますので、ウェブサイトの写真を無断に使用することは避けるようにしてください。事務局にご連絡いただければ、世界寺子屋運動プロジェクト地の写真のご提供は可能です。

発行日：2018年6月16日発行

発行：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

編集：2017年度青年情報交換会メンバー

名取 亮介 (青年代表理事、長野ユネスコ協会)

鈴木 郁香 (青年代表理事、柏ユネスコ協会)

藤田さおり (北海道・中部西ブロック評議員兼任、岐阜県ユネスコ協会)

入江陸太郎 (東北ブロック評議員、仙台ユネスコ協会)

中田 敦也 (近畿ブロック評議員、奈良ユネスコ協会)

中村 崇裕 (中国ブロック評議員、岩国ユネスコ協会)

横田 創 (四国・九州ブロック評議員兼任、松山ユネスコ協会)

朝井理沙子 (全国的青年連絡組織会長、渋谷ユネスコ協会)

長坂 朋美 (全国的青年連絡組織副会長、長野ユネスコ協会)

谷内 裕也 (奈良ユネスコ協会)

問い合わせ先：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟事務局

TEL：03-5424-1121 FAX:03-5424-1126